

医療的ケア児・者の 支援につなげたい



西神奈川ヘルスケア
クリニック 院長
あかばね しげのり
赤羽 重樹 先生

「あなたのことを教えてください!」、今のうちに把握しておきたいと考えています。横浜市では、医療的ケア児・者等支援促進事業実態調査に乗り出しました。自然災害、感染症の流行など、日常の支援が突然分断されてしまう場面が想定されます。どこに、どのような医療的ケアが必要な方が住んでおられるのか、把握しておくことが課題として浮かび上がってきました。医療的ケアが必要なお子さん（医療的ケア児）および成人（医療的ケア者）、重症心身障害を有しているお子さんおよび成人について、実は居住地での把握が個人情報保護の問題でできていません。このため、自主的な登録をしていただく必要があります。しかし、メリットが見えなくては登録する気持ちにはなれません。横浜市が掲げるメリットは、以下の2点です。

- ①医療的ケアに関する情報等を、早く適切に届けることができる。
- ②医療的ケア児・者とご家族に、必要な支援を届けることができる。

具体的には、①では保育・教育・福祉に関する情報として、新しい仕組みや変更点、相談窓口の情報などが配信されます。医療的ケア児支援法（令和3年9月18日施行）により、令和4年度から支援の幅が広がります。こうした情報は、これまで自分で探しに行かないと辿り着けませんでした。②では、大規模な停電発生時の支援、新型コロナウイルス感染症対策、

などが挙げられます。

登録は、横浜市電子申請・届出システムのフォームから行います。URLおよび二次元バーコードはこちらです。

※介護保険の要介護・要支援認定を受けている方、施設に長期入所中の方は登録の対象外です。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/ffc3453f-5efc-4e9e-9892-cb53c9982bbe/start>



「医療的ケア」とは、「日常生活に必要とされる医療的な生活援助行為」を指します。具体的には、気管切開した穴から痰を吸引する、胃ろうの管から栄養剤を注入する、尿の出口から膀胱まで管を挿入して尿を出す行為などです。気管切開とは、のどに穴をあけて中空の管で空気の通り道を作り、楽に呼吸ができるようにするものです。胃ろうとは、おなかの壁から胃に管を通して栄養剤の通り道を作り、口から食べられなくても栄養補給ができるようにするものです。空気の通り道に唾液や痰が詰まれば、苦しくなってしまいます。栄養補給は毎日必要です。これらは「医療行為」とされますが、医師や看護師しか行えないとなると、こうした医療を必要とするお子さんは自宅で暮らすことはできなくなります。そこで、医師の指導のもとに「家族が行う医療的な生活援助行為」を意味する、「医療的ケア」という言葉が生まれました。

